



現在の仕事内容

土木政策課での私の担当は、主に土木に関連する事業の国や府との窓口です。簡単に言うと、連携して行ういろいろな事業を円滑に進めるため前裁きをしています。例えば、枚方市の北部で進められている新名神高速道路整備事業では、地域の窓口として、また、淀川の枚方大橋から京都の御幸橋まで約2kmもの間の橋がない区間で、大阪府により進められている新しい橋の建設事業では、用地の取得などの本市の役割に関する調整等を行っています。

道路は市民の方の生活の基盤となるだけでなく地域や産業の活性化にも大きく影響することから、魅力ある都市基盤整備実現のため、日々取り組んでいます。

仕事のやりがい

土木で一番の魅力は、自分で考え、それを形にすることができるところです。土木で形になるものというと、道路や橋など、構造物を想像しますが、計画の策定や協定の締結などもあります。策定した計画や協定を基に事業が進められるわけですから、同じように充実感があります。それだけでなく、仕事を進めるために、手順や方法、スケジュールなどの情報を集め、勉強し、考えながら進めた経験自体に充実感と達成感を感じます。そうやって経験したことが、また次の仕事の時に役に立つことも多く、それもやりがいを感じるの一つです。



- H15.4 入職
都市整備部 まちづくり推進課
土木部 道路整備課
土木部 土木総務課 等を経て
- R2.4 現職
(部署名は当時)

キャリアについて

入職当時は、仕事に余裕がなく、女性技術職員が少ないため目標とする先輩がいなかったこともあり、将来について何のビジョンも持っていませんでした。そうしている内、結婚、出産で環境が大きく変わり、仕事に充てられる時間が制約され、管理職になるなんて考えられなくなっていました。でも、いろいろな仕事を経験していくうちに仕事に関する視野が広がり、一歩進んだ立場で判断して仕事を進めたいと思うようになり、さらに子育て中でもやれると後押ししてくれる環境があったことから管理職になることを決めました。今では、技術職の女性職員も増えており、子育てしながらでも仕事も充実できる職場環境が整えられるよう管理職として頑張っています。

ワーク・ライフ・バランス実践のコツ

今は、お迎えの時間があることで、仕事を切り上げるタイミングははっきりしています。仕事は時間中にできるだけ終わるように心がけ、家に帰ると仕事のことを考える暇がなく、強制的にバランスが取れているのが現状です。プライベートでは家事や育児はもちろんですが、自分の時間も大切に感じており、子どもが寝静まった後に気の合う仲間とウォーキングをしたり、コロナ禍の前は、食事やおしゃべりでリフレッシュしています。

枚方市の受験を考えている皆さんへ

女性が技術者として働き続けられる環境があることが市役所の魅力だと思います。働き続ける事は自分のキャリアを積むことに繋がるだけでなく、社会とのつながりを実感でき、自分の居場所を確認できることも。仕事でも職場環境でも女性ならではの視点がとても大切なのでもっと多くの女性技術者と一緒に働きたいです。

6:00 8:00 9:00 17:40 18:00 21:30 0:00

起床、朝食、洗濯、ゴミ出し	子どもを保育園へ送り、出勤	打ち合わせ、決裁、会議、資料作成確認など	退勤	保育園・学童にお迎え 子どもの宿題確認、夕食、片付け	洗濯後、テレビや読書など自分の時間	就寝
---------------	---------------	----------------------	----	-------------------------------	-------------------	----